



# コンテ

## 2007.2

### 旗

先日 東京の相田みつを美術館に行きました。そこで、次の詩に出会いました。

### 旗

旗をあげたら  
おろさない  
旗をふったら  
やすまない  
どんな風にも  
放さない  
そして

旗は  
一生に一本でいい

「旗」とは、経営理念や、ビジョン、方針のことを指します。経営理念を一度掲げたら、けっしてあきらめずにやり切れないといけません。そしてやり切るためには、不眠不休であってもやりきります。どんな向かい風がこようとも、どんな逆境に遭おうとも「旗」を手放さなません。

相田みつをさんは経営理念や、ビジョンの大切さを短い言葉でズバツと言っています。

さらに「旗」は一生に一本だと言っています。

佐藤一斉は「言志晩録」にて次のような言葉がありま

す。

「一燈を掲げて(さげて)暗夜に行く。暗夜を憂うことなかれ。ただ一燈を頼め」

世が暗夜であれば、自分自身が持つ提灯しか頼れません。ただ己の道を照らす一燈をのみしかと持ち歩き続けることの重要性を説いています。

2007年を迎えて、しっかり両手で「旗」を持ち続け、船を前に前に進めていきたいと思えます。

【降旗 達生】

## お客様の声

西友プラント工業株式会社  
品質管理責任者 渡辺紀生様

### ～共同取得でコミュニケーションアップ～

空調衛生設備工事である西友プラント工業様は、2006年11月にISO9001を取得しました。設計などを行うグループ会社との共同取得が特徴です。品質管理責任者として全体の取りまとめを行いました渡辺紀生様にインタビューしました。

(インタビュアー 三浦規義)

1. 取得活動を実施されてどんなところが、変革されましたか？

グループ企業3社と取り組みまして、最大の変革は社員全員のモチベーションが上がりました。取得まで約10ヶ月間でしたが、その間には刺激と感動が多くありました。

が抜群よくなりました。また推進会議を進めて行く途中でやはり落ちこぼれた社員もいました。

4. 今期の全社目標はなんですか？  
ITを使った情報の共有化を協力を強化していきたいです。そしてもっともって社員の意識アップを向上させて利益増大、また各社員のレベルも上げていきたいです。

西友プラント工業株式会社  
代表取締役会長 松尾 勲  
541-0043  
大阪府大阪市中央区高麗橋2丁目4番9号  
TEL: 06-6231-1555 FAX: 06-6220-0005  
会社概要: 建築設備工事の設計・施工及び施設維持管理

2. 今後はどんな ISO 活動をされますか？

まず全社員(グループ関連企業様)を含めて ISO の概念と会社の活動の狙いを教育、指導していきたいです。その結果普及率も上がり改善点の吸い上げにも繋がっていくと思っています。

3. 推進活動を実施して良かった点、悪い点はありましたか？

グループ企業間のコミュニケーション

## 若手社員のための基本マナー 第4回 【FAXのマナー】

1. 書類には表書きをつけて送ります。表書きとしては

発信日付  
発信時間  
送る側の会社名・部署名・氏名(発信元の名前)  
送り先の宛名(配信先の名前)  
案件名  
送信枚数( / ~ / )を明確に記入します。  
なお送信枚数は表書きを含めての枚数か、含めない枚数かも明記するとよい。

たいものがありますが、封書のほうがよろしいでしょうか。「これからFAXを送ります」と必ず相手に知らせる承を得てから FAX をするとよいでしょう。

2. 重要な書類の場合はとり急ぎFAXで送信したあとから、オリジナルを郵送することも必要である。

4. FAX を送ったあと、番号違いや機械の調子によっては確実に送られていないことがあります。とくに、重要な内容、急ぎの内容のときは、間違いなく届いているかを相手に確認の電話をすると安心です。

3. FAX を送ろうとする時に、相手に事前に電話で知らせておいたほうがよいケースがある。

そのケースには  
・目上の人、お得意先・取引先に送るとき  
・初めての相手または場所に送るとき  
・急用の内容を送るとき  
・重要な内容を送るとき・・・  
事前に電話をかけ「FAXを送らせていただきますが、よろしいでしょうか」「お届けし

5. 手書きの原稿を送るとき、筆圧や色によって判読できない場合がありますので、文字を濃くコピーしてから送りましょう。この場合、送信したあと、電話で確認すると丁寧です。

ポイント  
FAX を受け取ったときは、発信元に折り返し確認の電話をします。「早速お送りいただきありがとうございます」「お送りいただきありがとうございます。早急に検討の上、ご連絡申し上げます。」「ご返事申し上げます。」「ただいま受け取りました。ありがとうございます。など、その際、不明な点があれば確認しておきましょう。

ヴァーナル/マナー講座・ビジネスマナーより抜粋

## 2007年度資格試験のご案内

	1級土木施工管理技術検定	2級土木施工管理技術検定
申込受付期間	4月2日～4月16日(書面申込)	4月2日～4月16日(書面申込)
	3月16日～4月2日(ネット申込)	3月16日～4月2日(ネット申込)
申込用紙の販売	3月16日より(窓口販売)	3月16日より(窓口販売)
	3月16日より(現金書留)	3月16日より(現金書留)
	3月16日～4月7日(ネット請求)	3月16日～4月7日(ネット請求)
試験日	7月1日(学科試験)	10月28日
	10月7日(実地試験)	(学科・実地試験を同一日開催)
受験手数料	8,200円(学科試験)	8,200円(学科・実地)
	8,200円(実地試験)	4,100円(学科のみ) 4,100円(実地のみ)

	1級建築施工管理技術検定	2級建築施工管理技術検定
申込受付期間	2月16日～3月2日(書面申込)	6月29日～7月13日(書面申込)
	2月2日～2月16日(ネット申込)	6月15日～6月29日(ネット申込)
申込用紙の販売	600円(窓口販売) 600円+送料(ネット販売)	詳細は後日掲載予定
試験日	6月10日(学科試験)	11月11日
	10月21日(実地試験)	(学科・実地試験を同一日開催)
受験手数料	9,400円(学科試験)	詳細は後日掲載予定
	9,400円(実地試験)	

詳細は財団法人 建設業振興基金 試験研修本部 tel:03-5473-1581  
http://www.kensetsu-kikin.or.jp/honbu/